



衣川 正介

『鉄のふしぎ博物館』

子供の頃小学校の帰り道、鍛接の鎖を作っていた父の職場を毎日のようにのぞきました。赤く焼かれた鉄の棒がぐるっと曲がり、トントントン、先の少し狭くなった馬蹄形になります。もう一度、先端部を赤く焼いた馬蹄形の鉄棒を、すでに出来ているチェーンの輪にくぐらせトントントン。輪になりました、ドンドン大きな音と共に鍛接し、形を整えて一個のリンクが完成しました。この作業を200回～300回所定の回数を重ね、長くつながった25mのチェーンが出来上がるのです。『どうして赤く焼くの?』『なぜ同じように曲がるの?』『どうしてひつつくの?』疑問がフツフツと沸いてきます。気がつけば夕暮れ近くになっていることも頻繁でした。



3年生になると夏休みや冬休みには、材料運びなど簡単な仕事の手伝いをして小遣いをもらっていました。休みには手伝うのが当たり前で毎年続け、だんだん慣れて上手になりました。中学1年生の夏休み、作業中に怪我をしました。あいにく父は不在だったのですが、近所の病院につれていかれ、右手の人差し指の爪を抜き、少し縫ってもらいました。夕方に帰ってきた父は『不注意やから怪我をするんや!!』怒鳴られ、痛む指を見ながら涙の止まらなかったことを思い出します。

勉強はせずバレーボール・バスケットボールとスポーツにどっぷりと浸かっていた私が卒業と共に、この鎖づくりの会社に入社しました。鉄や製造技術は大好きでしたが、専門的な勉強はしたことがありません。ただ好奇心の旺盛な私は、判らないことがあると探求心が入道雲のようにムクムクと湧き上がります。自分が納得するために集めた資料や標本が増えてきました。一昨年・昨年と夏休みには子供の自由研究に役立ててもらうため、応接間を開放し、砂鉄遊びや磁石のふしぎを伝えました。今年の夏休みまでには小さなスペースですが、会議室の一部に『鉄のふしぎ博物館』を開館しようと考えています。子供達の喜ぶ博物館になれば幸いです。

展示予定の品

磁石につくもの	: 鉄・ニッケル・コバルト
	: 各地の砂鉄・石ころ・ホッカイロ
磁石	: 天然磁石・強力なネオジウム磁石
各種鉄鉱石	: 赤鉄鉱・磁鉄鉱 (含む 餅鉄・結晶)
金属元素	: クロム・マンガン・ジルコニウム・タンタル
	: シリコン・タングステン
製鉄原料	: 石炭・コークス・石灰石・蛍石・ペレット
ストロマトライト	: 辰砂・黒曜石 などなど

右の写真は子供達の大好きな『天然磁石』です。

アメリカ、ユタ州産

寸法 190mm x 130 mm x 80 mm 重さ 5.5 kg

ホームページと電子メールをご利用ください。

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>

<http://www.kanamonoya.co.jp/bike/>

ryou@memenet.or.jp



むらの鍛冶屋®



何でもお気軽にお尋ねください!!

『鉄のふしぎ博物館』 7月開館予定

3月号『夢通信』の記事に一部間違いがありました。「ジルコニウム」「ストロマトライト」訂正すると共にご指摘頂いた兵庫県機械金属工業技術支援センター高橋所長に感謝!! 感謝!!